

(別紙3)

村上市パブリックコメント手続を行う案件に対する意見の結果

提出された意見の概要及びそれに対する市の考え方について、次のとおり公表します。

【提出された意見の集計結果】

案件の名称	村上市第3次障がい者計画及び第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画（素案）	
意見提出期間	平成29年12月8日～平成30年1月4日（28日間）	
意見の提出者数	14人	
意見の提出件数	19件	
意見の受付状況	持参	6人
	郵送	2人
	ファクシミリ	人
	電子メール	6人

【意見の概要とそれに対する考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	知的障がい者への補助、支援金の充実。 市内に障がい者向けの医療設備の充実。 知的障がい者で病気で病院にかかるときに（特に初診）、優先的に配慮してすぐに受けられるようにしてもらいたい。新しい村上病院ができるときに希望します。	要望事項として承ります。
2	浦田の里への道を2車線にしてほしい。 知的障がい者で在宅ですが、集団検診（基本）が大変なので、個別に病院などで診ていただきたいが、40歳以上とのことなので年齢を下げてください。	担当部署へ要望事項を伝えます。
3	どの障がい者にも対等に福祉サービスが受けられるようにしていただきたい。	障害者総合支援法に基づき、どの障がい者にも福祉サービスが受けられるようになっております。
4	両親が死亡したようなときは、スムーズに施設等に入れられるようにしてもらいたい。（在宅にいる障がい者に対してのお願いです。）	計画本文の49ページ「地域包括支援の推進」に記載しております。親亡き後も住み慣れた地域での自立した生活ができるよう、グループホームの事業拡大を支援してまいります。
5	私の甥っ子に知的障がいを持って生まれた子がいる。重度障がい者が入院したときの介護支援サービスがありますが、知的障がい者にも入院時の介護支援サービスをつけていただきたい。 重度障がい者には、入院時の介護支援サービスがありますが、知的障がい者にも入院時の介護支援サービスをつけていただきたい。 現在、子どもは、浦田の里に入所しておりますが、もし病気などで入院になった場合、本当に困ってしまいます。親も年金暮らしで生活するのにいっぱいです。介護者をつけられるようなサービス支援が知的障がい者にもと思います。重度障がい者には介護支援サービスがあるようですが、知的障がい者にもぜひお願いします。親も年々大変なことになってきましたので、不安でいっぱいです。なかなか子どもに付き添うこともできなくなってきました。できるだけ早く、入院時の介護支援サービスを受けられるようお願いいたします。	計画本文の49ページ「地域包括支援の推進」に記載しております。重度障がい者が安心して暮らせるよう支援を行いたいと考えます。なお、知的障がい者も要件に当てはまれば、該当となります。

	<p>重度障がい者の保護者です。これまで、いろいろ大変でしたが、おかげさまで、現在は入所施設におり、親も子も落ち着いた生活をしています。ただ、これから先、不安なことは入院したときのことです。知的障がい者も介護支援サービスを受けられる。そして、入所していても（重度なので入所しています）使える制度にさせていただきたく、お願いします</p>	
	<p>現在、支援サービス（生活介護、短期入所、就労継続B型、日中一時支援）を利用しながら、日々の生活をおくっています。これから先、本人が入院することがあると本人と親が互いに歳を取るのでもとて不安です。どうか、知的障がい者にも入院時の介護サービス支援をつけてくださるようお願いいたします。</p>	
6	<p>知的障がい者が、入院及び通院に際し、安心して治療が受けられるような支援をお願いします。</p>	<p>「重度訪問介護の訪問先の拡大」が平成30年4月1日より実施される予定です。それにより入院時に該当となれば、支援の対象となります。また、居宅介護（通院等介助）や行動援護、移動支援などにより、通院時のサポートを行うことができますので、ご活用ください。</p>
7	<p>世の中では7040問題が発生しております。障がい者の家はずっと大変です。父母（保護者）が70歳を過ぎて、介助・介護が必要になったときに、知的障がい者（本人）が40歳となっています。早い時期から個別ライフプランを作成してケアする係があるとよいです。プランには（例）本人の状態による通所→入所移行・金銭的なサポート（遺産相続・後見人など）そして、最後は親亡き後に本人はどう生きていくのかとなります。</p> <p>重度障がいの娘の母です。生後6カ月から病院通いをし、現在まで娘中心の生活をしてきました。若さだけで乗り切れたことも70代になり、自分の体が思うように動かなくなり、毎年不安が増すばかりです。現在、施設にお願いしていますが、娘の心は幼子同様です。多動の知的障がいで、言葉もなく、月に1度の帰省を楽しみに待っています。頼れる人もなく、もし、自分達に何かあったらと不安でいっぱいです。この度、このようなお話を聞き、自分の子どもに適応しなくても、誰か</p>	<p>計画本文の49ページ「地域包括支援の推進」に記載しております。親亡き後も住み慣れた地域での自立した生活ができるよう、支援してまいります。</p>

	<p>一人でも私たちの立場や、悩みを理解していただけたら幸いです。知的障がいの場合、本人の言葉として聞く事はできませんので、親であっても、いつもどんなときでも私たちは代弁者に過ぎないのです。重度障がいの子どもを育て、本人はもちろん、家族も人と違う人生を歩んできました。この年月を文字にして表現はできませんが、「安心して死ねる事」が、今の願いです。</p>	
8	<p>知的障がい者は、複数の病気のある方もいて、言語障がいなどでうまく伝えることができない方も多い。これから歳を取って病気になることもある。保護者も高齢化し、面倒を見られない方が多い。すでにご両親が亡くなっている方もいる。これからは、お医者さんが常勤して終身入所でき、看取りまでできる施設が必要と思われるが、こういった所に入れるのか、これからのことが、気がかりである。(必要ならリハビリなどもできるといい)</p>	<p>計画本文の 49 ページ「地域包括支援の推進」に記載しております。親亡き後も住み慣れた地域での自立した生活ができるよう、グループホームの事業拡大を支援してまいります。また、その人にあつた住まいの場の確保に努めてまいります。</p>
9	<p>私の子どもは重度の知的障がいと先天性心疾患です。生後すぐに大学病院で心臓の手術を行い、その後 3 回の手術を受けて、現在はみどりの家朝日で作業を行っています。手術を受けた当時は、私たち両親は、勤めており、私の母に付き添いをしてもらっていました。子どもの付き添いは身内の人でないと難しいかもしれませんが、大人になってからの入院となると親も高齢となり、子の付き添いをするのも身体的にも大変なことと思います。</p> <p>重度の身体障がい者及び知的障がい者ともに入院時の介護支援サービスを付けていただくようにご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>計画本文の 49 ページ「地域包括支援の推進」に記載しております。重度障がい者が安心して暮らせるよう支援を行いたいと考えます。なお、身体障がい者及び知的障がい者も要件に当てはまれば、該当となります。</p>
10	<p>高齢者や知的障害者施設で虐待や殺傷事件が起こっている。介護する職員の方も日々大変でストレスも多いと思う。職員間の人間関係で悩む方もいると思われる。人手不足で職員のレベルも差がでると思われる。介護する側の定期的な教育やケアもしていただきたい。人材育成は大切だと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、人手不足、人材育成については喫緊の課題であると認識しております。今後も人材の確保等については研究・検討に努めてまいります。</p>

11	<p>養護学校卒業後は、寺泊の白岩の里に入所してまいりました。当時は重度の子は寺泊しか行く場所がなかったのです。今は近くの施設で暮らせることが何よりありがたいです。子どもも親も歳をとりました。もし、子どもが病気で入院しなければならないときのことを思うと不安です。自分もいつかは介護が必要になるかもしれない。子どもの付き添いは無理だと思うのです。そんな時に支援していただけるようお願いしたいです。今は社会の人も地域の人も理解してくださる人が多く、大変ありがたいです。まずは自分が元気でいなければと頑張っています。よろしくお願いします。</p>	<p>計画本文の 49 ページ「地域包括支援の推進」に記載しております。重度障がい者が安心して暮らせるよう、また、親亡き後も住み慣れた地域での自立した生活ができるよう、支援してまいります。</p>
----	--	--